



「災害・障害を乗り越えた おしどり夫婦」

今回は1階に入所されている**小林柳太郎様、育子様ご夫婦**を紹介いたします。
 お二人の出会いは、柳太郎さんが大学生時代、白樺湖のスケート場に行った際、そこで食事係のアルバイトをしていた**育子さんに一目惚れ**したことから始まります。(実は、当時柳太郎さんには彼女がいたと育子さんがこっそり教えてくださいました(笑))
 お二人は結婚し2人の子供にも恵まれ、川口市のご自宅に約45年暮らしていましたが、苦労の連続でした。平成9年に長女さんをご病気で失い、平成26年には火災で家を失ってしまいました。市営住宅へと転居された後も災害は続き、平成28年には奥様が脳梗塞(右半身麻痺・言語障害が残る)、令和元年にはご主人が肝機能障害・閉塞性動脈硬化症(歩行機能障害が残る)になり、**夫婦共に要介護の状態**になってしまいました。市外の病院、施設に入っていましたが、昨年、次女さんの自宅に近いとの理由で、春日部ロイヤルケアセンターに入所する事になりました。

柳太郎さんは入所当時から『**休み休みでも歩けるようになりたい**』との目標を掲げ、歩行練習に取り組んだり、卓球バレー、ゴルフ、ボッチャ等、集団で取り組むリハビリの時には、他の利用者様を引っ張り、戦略を考えるリーダー的存在として頑張っています。最近ではさらに、認知症予防のために、ナンクロや、切り絵にもチャレンジするようになりました。

育子さんは『**ここに慣れ、楽しく過ごしたい**』との目標を持ち、折り紙にチャレンジしています。お孫さんに折り紙で「傘」を作って贈られたそうです。また、昔から歌が好きだったため、居室でラジオを聞いたり、鼻歌を口ずさんでいる姿をよく目にします。

「今一番**ご夫婦でやりたい事**、したい事は？」と柳太郎さんに尋ねると、「私は、耳と足が不自由。妻は目と右半身が不自由。共通で健康なのは『口』だけ。なので大好きな歌、妻の歌声が早く聞きたい」「残り少ない人生だから、ハンデを抱えながらも二人でできる事を探していきます」との答えが返ってきました。育子さんにも同じ質問をしたところ『**『知床旅情』を歌いたい**』と返事が返ってきました。現在コロナ禍でカラオケができない状況ではありますが、終息後はお二人に一番に歌っていただきたいと思います。

食事の後に、柳太郎さんが育子さんに声をかけ一緒に歯磨きをしたり、さりげなく、育子さんを気遣い、目配せしながら、**そっと手を差し伸べている姿**を見たり、お互いを「柳太郎さん」「育子ちゃん」と名前と呼び合っている仲睦まじい姿を見ると、スタッフも幸せになります。年を重ねても、障害を抱えても、お互いを思いやり支え合える小林さんご夫婦のようになりたいものです。今後も**小林さんご夫婦の幸せのため**、スタッフ一同で協力し、支援していきたいと思っております。



早く2人で元気になって、苦労を続けていた次女さんに、感謝の想いを伝えたいと話しておりました。



★リハビリ科★『作業活動』と、その『想い』について

リハビリ科では「作業活動」として季節に沿った作品づくりに取り組んでいます。最近では、夏といえばひまわり！ということで、お花紙やちぎり絵、絵具や色鉛筆など様々なものを使用してひまわりを作成しました。細かい作業が得意な方にはお花紙を丸めて頂いたり、絵を描くことが好きな方には絵具で色を塗って頂いたり、利用者様の**持っている力や特技、好きな事を活かした作品づくり**に取り組みました。

リハビリスタッフ一同は、利用者様に**“季節を感じてほしい”“懐かしいあの頃を思い出してほしい”**そんな「想い」で活動提供をしています。楽しく会話しながら、黙々と集中しながら…皆様それぞれですが、一生懸命取り組む姿は私たちスタッフの励みにもなります。活動に取り組んだ利用者様だけでなく、このひまわりを見た利用者様・スタッフも、**大輪の笑顔**を咲かすことができますように――。



職員紹介のコーナー

氏名 **香取 五月** フロア名 **3F** 職種名 **介護助手** 出身 **東京(文京区→西池袋)→結婚して春日部へ** 血液型 **AB型**
 座右の銘 **自分を人より優れているとも偉大であるとも思わないこと。また、その人を自分より優れているとも偉大であるとも思わないこと。そうした時、人と生きるのがたやすくなる。(ロシアの思想家 トルストイの言葉)**
 この仕事に就く前 **医療事務**の仕事をしていましたが、母が癌を患い、義理の母が認知症になったため、介護に専念しようと仕事を辞めました。その後、**ネイルの勉強**を始め、美容師の妹と一緒にビューティーサロンを立ち上げようと準備をしていた矢先、妹が脳出血で倒れてしまいました。妹を介護していた時に、自分が急性腰痛症(ギックリ腰)になってしまった事をきっかけに、「妹の看病と介護」のため**介護の勉強**をしようと思い、現在の職に就きました。夫が難病(クローン病)を患っているため、症状悪化予防のための**料理を勉強**しています。
 休日の過ごし方 **アニメ**は何でも観ます(最近は「最遊記 RELOAD」「ワンピース」「ナルト」「呪術廻戦」など)。**ジグソーパズル**をして過ごしています(1000ピースだと3日位で仕上げます)。**ジャズ**(インスト：歌詞なし)にも最近ハマっています。ジグソーパズルやジャズ鑑賞は**集中力を高め、ストレス発散**になります。



施設の行事・イベント・お知らせなど
定期的に配信しています

春日部ロイヤルケアセンター

検索



介護老人保健施設
春日部ロイヤルケアセンター

住所: 埼玉県春日部市藤塚2622番2
TEL: 048 (733) 5771 / FAX: 048 (733) 5778

フロアより活動報告

♠1Fフロア♠『七夕』

暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか。皆様は今年の七夕で、どんな願い事をされましたか。さて、1階フロアの七夕では、利用者様がそれぞれの思いを短冊に書き、笹に飾りつけました。

素敵な願い事をいくつか紹介したいと思います。

「しっかり歩けるようになりたい」「施設の皆さんが健やかに過ごせますように」「誰よりも君を愛す」「食事が美味しく食べられますように」「天の川自分の足で渡りたい」などさまざまです——。

願いを書いた短冊、手作りの飾りで、フロアの笹もたわわになるほど、**カラフルに装飾**されました。

皆様の想いが天まで届いて、願いが叶いますように・・・☆



◆2Fフロア◆『Let's Summer Time』

皆さんこんにちは！ 外では気温が上昇し、セミの声がさらに夏を感じさせ、うだるような暑さが続きます。しかし、利用者の皆様は**熱中症に負けないくらい元気**に過ごされています。

2Fフロアの6月7月の出来事をご紹介します！！

6月の出来事 フロアの花の装飾品を『紫陽花』に模様替えしました。利用者様からも「かわいいね♡」「夏っぽいね♪」と好評です。また、天井に『風鈴』を飾りました。この風鈴は、利用者様一人一人に色やデザインを決めて頂き、手作りで作って頂きました。

7月の出来事 7月7日の七夕に向けて、短冊に願い事を書いていただきました。「早く家族に会いたい」「毎日元気に過ごしたい」「ステーキが食べたい」など皆様のお願いが沢山ありました。

残念ながら、当日天の川は曇り空で見えませんでした。きつと織姫様、彦星様に届いていますよ☆

まだまだ暑い日が続きます。2Fフロアでは、風鈴や紫陽花など『季節感』や『涼』を感じる取り組みや、「新型コロナウイルス」「ノロウイルスによる食中毒」などの感染症対策、「熱中症対策」に注意しながらこの暑い夏を乗り切れるよう頑張ります。



♣3Fフロア♣『7月誕生日会』

皆様こんにちは！ まだまだ暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。

さて、3階では7月12日に誕生日会を行いました。7月誕生者3名を紹介したいと思います。

右側から「**榊原直子様**」昭和19年7月22日生まれの78歳。

笑顔が素敵で、面倒見が良く、「おやつ食べる？」など、常に**周りの方に気配り**をしてくださいます。

真ん中が「**高橋八重子様**」昭和4年7月6日生まれの93歳。

シルバーカーで歩行訓練に励まれ、体操やレクリエーションでは活発に**周りを引っ張るリーダー**です。

左側が「**新井文子様**」大正8年7月28日生まれでなんと103歳です。

新井さんに**長生きの秘訣を質問**したところ、「何も考えない事」「何でも好き嫌いなく食べる事」と答えてくれました。ストレスを溜めない事が大事なんだそうです。3名の若々しい姿、年齢を感じさせないお姿にも、努力・秘訣があるんですね。職員と利用者様一同、**盛大な拍手でお祝い**させて頂きました。

今後も利用者様に楽しんでいただける催しを企画していこうと思います。



♥デイクアフロア♥『夏の風物詩～グリーンカーテン～』

今年もデイクアの窓際にグリーンカーテンを設置すべく、「**ゴーヤ**」と「**あさがお**」の種を蒔きました。しかし、今年の春先は天候が悪くなかなか大きく育ちませんでした…。

そんなゴーヤたちの成長を見守り、気にかけてくれていた利用者様も少なくありません。自宅でもゴーヤを育てている片桐様より、「**水分が足りない**」「**肥料をあげたほうが良い**」など、**アドバイス**をいただきました。片桐様のアドバイスを参考にスタッフ一同で世話をしたところ、8月初旬、ようやくゴーヤが実りました。

さらにあさがおも咲き、皆様のおかげで、今年も立派なグリーンカーテンが出来ました。

まだまだ暑い夏真っ盛り、**利用者様の健康と、グリーンカーテンの成長を祈る**ばかりです…。



片桐様

実家は祖父の代から植木屋だったそうです。片桐様自身は植木屋ではありませんでしたが、先代からの縁もあり、以前は草加市の**小学校の校庭の園芸作りのアドバイス**をしていたそうです。